



万引きは「しない」 「させない」「見逃さない」

万引きは「自分に関係がない」と思っていませんか？

万引きは、見逃されるとだんだんエスカレートして被害が大きくなります。

万引きは犯罪です！

万引きを「しない」ことはもちろんですが、お店で不審な行動をしている人を見かけたら、店員に知らせるなど、地域全体で万引きを「させない」「見逃さない」意識を持つことが重要です。



夏休み、お出かけ、帰省のときの注意

旅行などで家を留守にするときは、高層階の窓や小さな窓にも鍵を掛けましょう。特に長期間家を空けるときは郵便物や新聞がたまらないよう気を付けましょう。

ご近所で留守の状況をお互いに把握し、地域の目で泥棒を撃退しましょう。

車には鍵を掛け、荷物は車内に残さないようにしましょう。

住宅の敷地内でも「車上ねらい」は発生しています！



観光地など、人混みの中では「すり」に気をつけましょう。

「置き引き」を防止するために、手荷物は離さないようにしましょう。



夏のレジャーに潜む危険 ～火の取り扱いに気を付けましょう～

バーベキューや花火は夏の楽しみの一つですが、ちょっとした不注意が悲しい事故につながります。次のことを必ず守って楽しみましょう。



<バーベキューの注意点>

1. 火の粉が飛んで周りの物に引火する危険性があります。風向きに注意しましょう。
2. 綿やレーヨンなどの再生繊維の服は着衣着火の危険があります。
3. バーベキューをするときは、グリル付近に必ず消火水などの消火用具を用意しましょう。(消火用具を用意することで、着衣に着火した際などに素早く対応できます。)
4. グル状の着火剤は、揮発性が高く青白い炎で燃焼し見えにくいことがあります。火おこし途中で火が消えたこと勘違いしてチューブから直接グリル内へ追加投入すると、引火し大事故につながります。間違った使い方に注意しましょう。

<花火あそびの注意点>

1. 花火は、注意事項をよく読んでから遊びましょう。
2. 人混みを避け、燃えやすい物のない広い場所で遊びましょう。
3. 服の素材によっては着衣着火の危険があります。
4. 風が強い日の花火はやめましょう。
5. 点火後、火が着かないときでも絶対に花火に近寄ったり、のぞいたりしないでください。
6. 終わった花火は水の入ったバケツに入れるなど、確実に消火してください。

